

感染症情報

9月15日～21日(第38週) 神垣小児科

流行の程度および推移は、今週だけではなく過去2～3週間も含めて、院長の判断で決めたものです。
あくまでも神垣小児科を受診された患者さんからの情報です。流行は地域によって異なります。

	疾患名	流行の程度	流行の推移	コメント
①	麻疹	★		
②	風疹	★		
③	水痘 (みずぼうそう)	★		
④	ムンプス (おたふくかぜ)	★		
⑤	百日咳	★★★★	↓	減少傾向です
⑥	溶連菌感染症	★★★★	→	コンスタントにみられます
⑦	肺炎 (マイコプラズマなど)	★★★★	→	コンスタントにみられます
⑧	ロタウイルス性胃腸炎	★		
⑨	その他の胃腸炎 (ノロウイルスなど)	★★	→	
⑩	伝染性紅斑(リンゴ病)	★★★★	→	コンスタントにみられます
⑪	手足口病	★		
⑫	ヘルパンギーナ	★★		
⑬	咽頭結膜熱(プール熱)	★		
⑭	アデノウイルス感染症	★★	→	まれにみられます
⑮	上記(⑪⑫⑬⑭)以外の 夏かぜ症候群	★★	→	高熱・発疹など
⑯	RSウイルス感染症	★★★★★★	↑↑	大流行中です
⑰	インフルエンザ	★★	↓	まれにみられます
⑱	新型コロナウイルス感染症	★★★★	→	コンスタントにみられます
⑲	ヒトメタニューモウイルス感染症	★		
⑳	その他のかぜ症候群	★★	→	高熱、咳があります

8月末頃から「RSウイルス感染症」が急速に増加し現在大流行中です。今年は春先に続いての流行です。例年ですとこのまま冬場にかけて流行が続きますが今年はどうでしょうか。

「マイコプラズマ感染症」「溶連菌感染症」「伝染性紅斑」はコンスタントにみられています。

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」の夏の流行もうしばらく続きそうです。

「百日咳」「インフルエンザ」は減少傾向ですがまだみられます。

「手足口病」はありませんが「アデノウイルス感染症」「ヘルパンギーナ」「その他の夏かぜ症候群」はまれにみられます。

★	なし
★★	たまにあり
★★★	時々あり
★★★★	流行中
★★★★★	大流行中

↑	増加傾向にある
↑↑	著しく増加傾向にある
→	変化なし
↓	減少傾向にある
↓↓	著しく減少傾向にある